

# mycp2

---

直接システムコールを使用してファイルコピープログラムを作る。

## 1. 演習の手順.

- 前回と同様
- 授業で説明した注意点は再確認

## 2. 作るもの(mycp2プログラム)

- 3年次に作成したmycpと同じように動作するファイルコピープログラム
- 但し, `open`, `read`, `write`, `close`システムコールを使用する.
- バッファサイズより大きなファイルのコピーもできること.
- ファイルサイズがバッファサイズの整数倍とは限らない.
- コマンド行引数のチェックは必須.
- `open` システムコールエラーチェックも必須.
- システムコールのエラーメッセージは`perror()`関数で表示する.

## 3. 動作テストの例

ランダムなデータを含む大きさ10KiBのファイルを作り, `mycp2`プログラムを使ってコピーする.  
最後にコピーしたファイルの内容が元の10KiBのファイルと同じことを確認する.

```
$ dd if=/dev/urandom of=srcfile bs=1024 count=10 # ランダムな内容の
10+0 records in                                # 10KiBのファイルを作成する
10+0 records out 10240 bytes transferred in 0.001528 secs (6701462
bytes/sec)
$ ./mycp2 srcfile destfile                     # mycp2 プログラムを実行する
$ cmp srcfile destfile                         # コピー元とコピー先ファイルを
比較する
$                                              # 内容が同じなら何も表示されな
い
```